

「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり」の二期計画が登録

資源、地や々々成を
「資」し、村各間形出
つか市町が河川を創
持をに管「な賑わ
が恵目的川、好の
地域目河り良城
地知をとよした地
は、「ど等にして
とんだ民と合し
富振城が融か
くり光地す活
く意観、携間周で
ち創業者連空組
まの化学をち川取
わ域性事組「河指
か地活用取」「目

「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」を活かして、地域の活性化を図ることを目指す。具体的には、地域の特色を生かし、観光・文化・産業などを通じて、地域の魅力を高め、持続可能な地域づくりを目指す。



登録証は早明浦
ダム玄関に掲示

り「一早期浦ダム周辺地区がわまちづく
 の整備やカヌー等のアクティビティ
 運営などを進めてきました。新たに
 スタートする二期計画では、「水辺
 を活かしたスポーツ&レジャーのか
 わまちづくり」をコンセプトに、利
 活用の面と周辺環境を積極的に活か
 した「スポーツ」「レジャー」「宿
 泊滞在」「インフラツーリズム」等
 を推進し、
 周辺地域の
 更なる活性
 化と賑わい
 の創出を目
 指します。



登録証は早明浦
 ダムを間に掲示

早明浦だよい



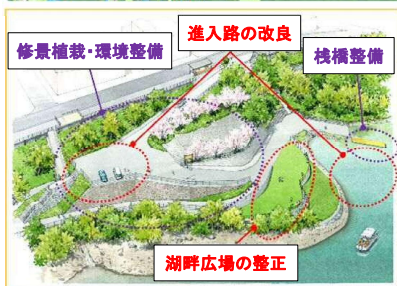
早明浦ダム
ホームページ

↑ スマホはこちらから



かわまちづくり
に関する詳細
はこちらから

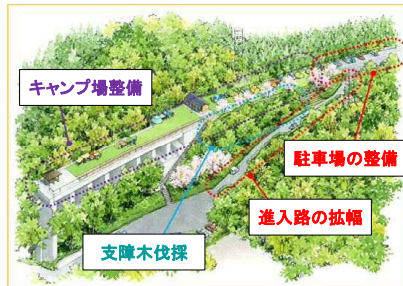
吉野川ダム統合管理事務所
記者発表資料へ



村の駅エリア



レイクタウンエリア



ダムエリア

慰霊碑の清掃と献花

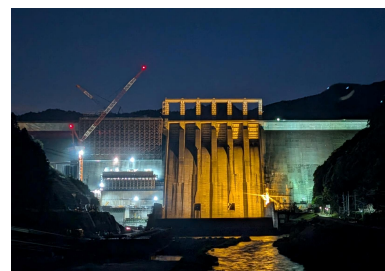
お盆を迎えるにあたり、ダム建設工事にて殉職された方々を偲び、慰霊碑の清掃を実施するとともに、献花を行い無事故・無災害を誓いました。



早明浦ダムライトアップ

水資源機構では、8月1日の「水の日」に全国的に実施されている「「水の日」ブルーライトアップ」にあわせ、水源地域の皆様へ感謝をこめて、水資源機構が管理する早明浦ダムを含む10ダムにおいて一斉ライトアップを行いました。

早明浦ダム再生
事業の工事照明と
も相まって、幻
想的なダムの姿
が浮かび上がり
ました



まちかど・水・キャンペーンinこうち

8月4日イオンモール高知において「まちかど・水・キャンペーンinこうち」を開催しました。高知県河川課・高知市上下水道局・四国電力(株)・(一社)土佐れいほく観光協議会と協働で、高知分水や早明浦ダム、嶺北地域の紹介の他、水力発電に関連したパネル展示等を行うなど、水の大切さをアピールしました。

また、早明浦ダム周辺の
間伐材を使用したコースタ
ーを参加者に配布するとと
もに、コースターに絵を描
く制作体験は、好評を博し
ました。



取組に関する
詳細はこちら
から

[国土交通省のホームページへ](#)

早明浦ダムでは、7月21日から25日にかけて、洪水調節容量に流水を一時的に貯留する水位運用高度化操作の試行により増電を図りました。

◆**発電に資する水位運用高度化操作の試行**

通常のダム操作では、洪水後期において、洪水吐きと発電放流管を用いて、ダムの水位を速やかに洪水貯留準備水位まで低下させますが、洪水後期放流(活用操作)は最新の気象予測技術を活用し、次の防災操作に支障がないと判断できる際には、水位低下途中に洪水吐きからの放流を停止し、発電放流のみに切り替えて緩やかに水位を低下させ、増電に寄与する取り組みです。

◆発電に資する水位運用高度化操作の試行

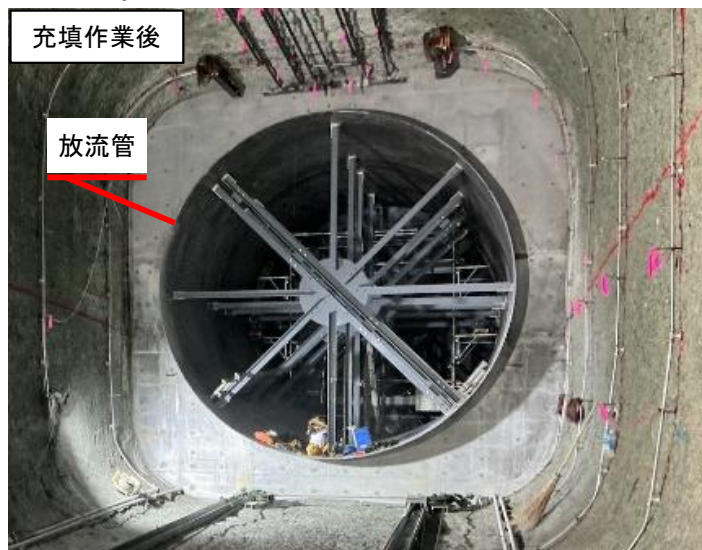
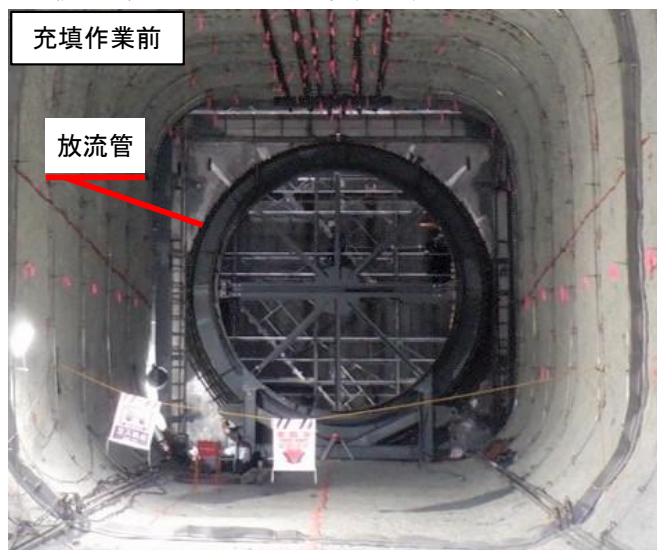
★ 早明浦ダム再生事業 工事進捗状況報告 ★

【増設する放流管の工事状況】

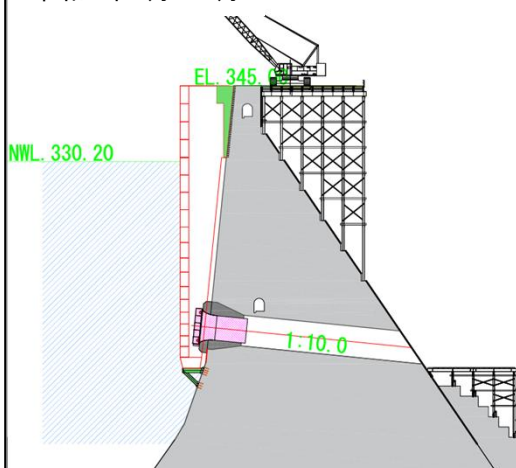
最初にダム堤体に貫通させた1本目の孔^{あな}では、下流に水を流すための放流管^{ほうりゅうかん}の設置作業を行っています。放流管の設置が終わったら、孔と放流管の隙間をコンクリートで埋める充填^{じゅうてん}作業を行います。

充填^{じゅうてん}作業では、コンクリートを下半分と上半分の2回に分けて打設^{だせつ}します。作業する空間が非常に狭いため、「高流動コンクリート」と呼ばれる特殊なコンクリートを使用しています。これは、通常の生コンクリートよりも流動性が高く、鉄筋の隙間や型枠の隅々までしっかりと入り込む性質を持っています。

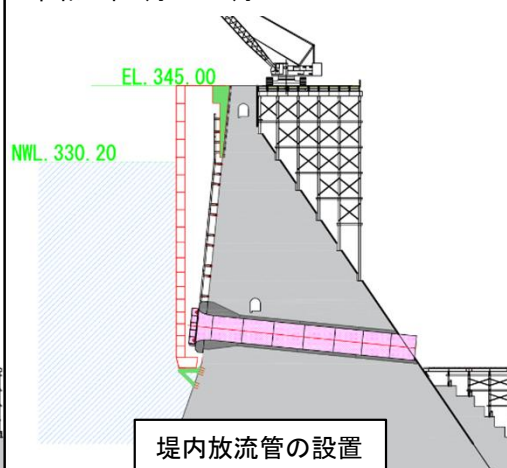
現在は、孔^{あな}の中での作業が主ですが、今後は、放流管^{ほうりゅうかん}をさらに下流側に伸ばしていく予定です。引き続き、安全かつ品質を確保した施工^{せこう}を進めていきます。



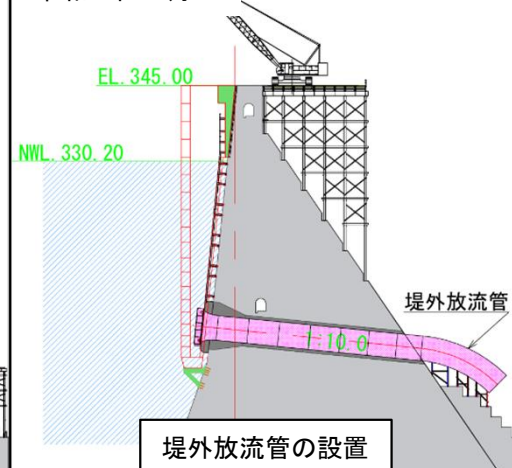
令和7年4月～6月



令和7年6月～10月



令和7年10月～



★ トピックス 工事現場見学会の取り組み ★



小中学校の学習会やインフラツアーなどの見学会を通じて、早明浦ダムの管理や再生事業を実際に目で見て体感し、理解を深めてもらうため、職員による概要説明や現場案内など、積極的な情報発信に取り組んでいます。